

～入学式 答辞～

〈令和3年4月7日〉

春陽が眩しくなり、まさに春爛漫、心華やぐ季節となってきました。この良き日に、私たち39名が京都第一赤十字看護専門学校に入学し、看護師を志す者の一員となれたことを心より嬉しく思います。

本日は、連日ニュースで報道されているように新型コロナウイルスの感染拡大のため、行事の開催に制限がある中、私たちのために華やかな入学式を挙げて頂きましたことを、入学生一同心より感謝し、御礼申し上げます。

先程、学校長先生から心のこもったあたたかいお言葉を頂戴し、感謝の気持ちでいっぱいです。それと同時に、これから人様の命に携わっていくことをより自覚し、その責任の重さをひしひしと感じている所存でございます。ですが、改めて京都第一赤十字看護専門学校の一員となれたことを光栄に思い、同じ看護師を志す仲間と切磋琢磨しながら、幅広い知識や技術を備えた看護師を目指していきたいです。

また、日々スキルアップに励むだけでなく、今までの先輩方が築き上げて来られた伝統や、赤十字が基盤として掲げる「人道」の精神を受け継いで参りたいと思います。

今現在、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、関西でもリバウンドが見られ、蔓延防止のため様々な対策が出されて

いる状況です。このような状況の中で、これから医療従事者になる者として、私たちが心掛けるべきことは何か、私たちの行動で周りにどういった影響を与えることになるか、などということをしっかり考えて、意識ある行動をしていくべきだと感じます。

そして、私達はこれから日本赤十字社の一員であるということを知覚し、思いやりなどの豊かな人間性を備えた、広く社会に貢献し必要とされる看護師になることを誓います。立派な看護師になるには、知識も技術もまだまだな私達ではありますが、どうぞ今後とも温かく、時には厳しくご指導くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



第90回入学生代表 辻岡 葉月